

Kuradashi

株式会社クラダシ

インパクトコンソーシアム
第3回 市場調査・形成分科会 資料

会社名	株式会社クラダシ
代表取締役	関藤 竜也 代表取締役会長 河村 晃平 代表取締役社長 CEO
創立	2014年7月7日
所在地	東京都品川区上大崎三丁目2番1号
事業内容	「Kuradashi」事業 <ul style="list-style-type: none">● ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」● Kuradashi Hub● Kuradashi Stores



クラダシは、日本で13番目に
B Corp 認証^{注1}を取得しまし
た。

Mission

ソーシャルグッドカンパニーでありつづける

もったいないを価値へ～凸と凹をマッチングすることで世界を豊かにする。
世の中に山積する社会課題解決を目的に設立したソーシャルグッドカンパニー。
社会性、環境性、経済性に優れた活動をしていきます。

Vision

日本で最もフードロスを削減する会社

国内消費食料の約6割を輸入しているにも関わらず、世界有数のフードロス大国である日本。「3分の1ルール」などの商慣習のために、その多くを無駄にしているのです。
私たちクラダシは1.5次流通革命を通じて、日本のフードロスを削減します。

Kuradashi の特徴的なビジネスモデル

フードロス削減に特化した食品プラットフォーム
サプライヤー良し、消費者良し、社会良しの三方良しのソーシャルグッドを実現



社会貢献団体への寄付 & クラダシ基金の活動原資

売り上げの一部を環境保護や動物愛護などのさまざまな社会貢献団体へ寄付
もしくはクラダシ基金の活動に充当し、SDGsの17の目標を横断して支援 🌍

おトクな買い物がフードロス削減 更には社会貢献活動へつながるプラットフォーム

楽しいお買い物で、
みんなトクする
ソーシャルグッドマーケット

Kuradashi

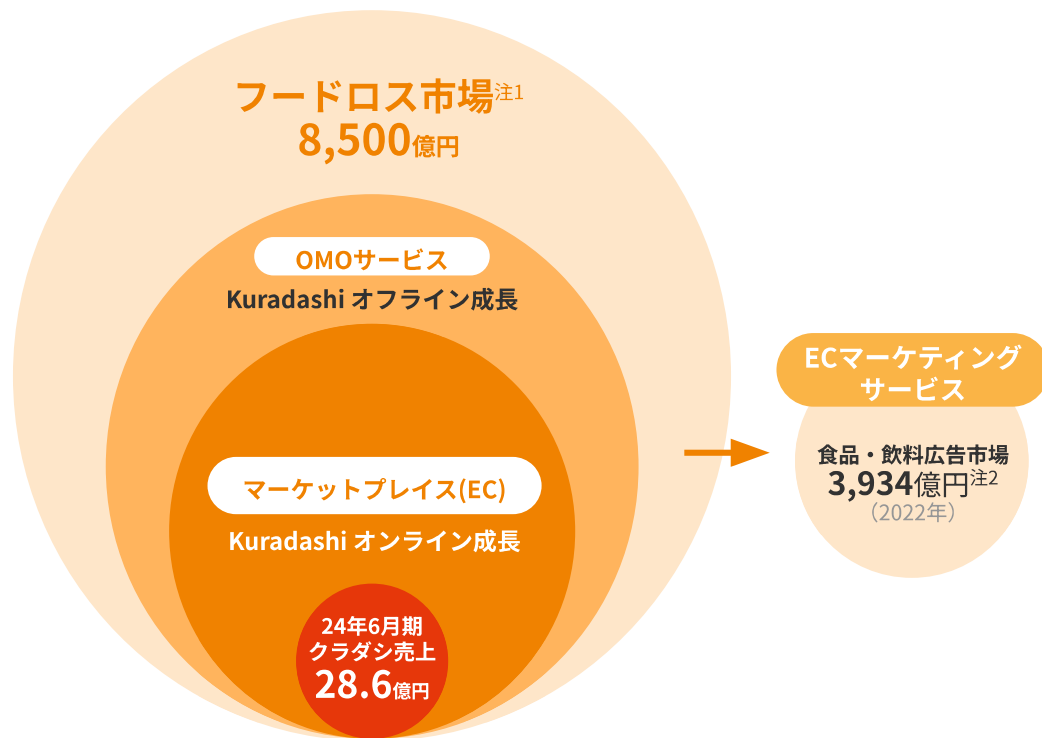
フードロス削減を目指し、まだ食べられるにもかかわらず捨てられてしまう可能性のある食品などを、おトクに販売しています。

さらに、売上の一部を環境保護・災害支援などに取り組むさまざまな社会貢献団体への寄付やクラダシ基金として活用し、SDGs17の目標を横断して支援しています。

楽しくておトクなお買い物が、社会に良いことにつながる。そんな、全く新しいソーシャルグッドマーケットを創出しています。



フードロス市場は約8,500億円
国を挙げて解決すべき社会課題であり、周辺市場も含めて大きなポテンシャルを有する



パートナー企業からの賛同

- 事業コンセプトと社会貢献の取り組みに賛同いただき、多くのパートナー企業からの商品出品を継続実現

代表的なパートナー企業例：

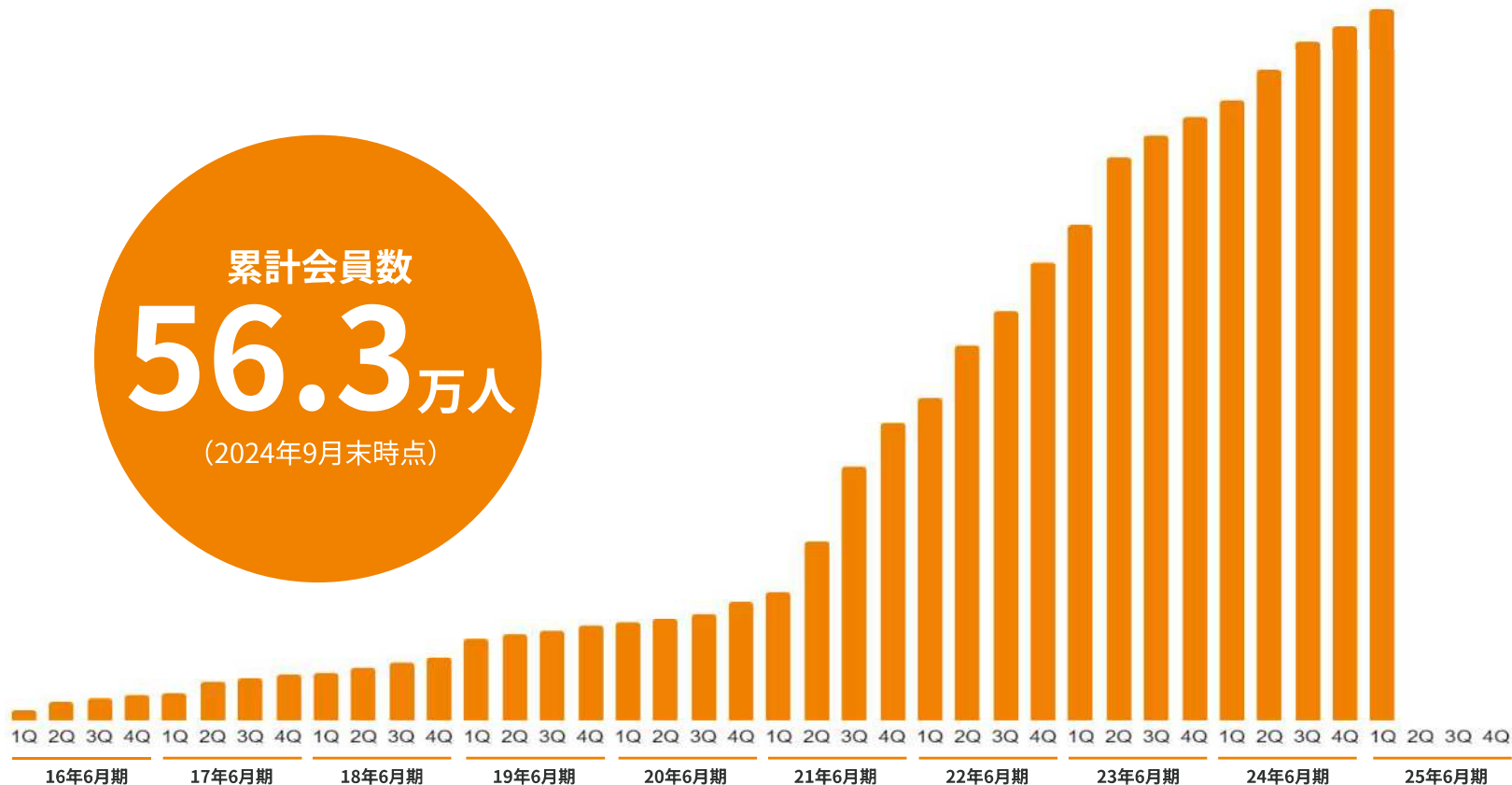


フードロス削減に賛同するKuradashi会員数は加速的に増加

累計会員数

56.3万人

(2024年9月末時点)



サステナビリティへの貢献

クラダシのユニークな事業モデルである社会貢献活動への支援

累計支援金額
2024年9月末時点

1.5億円

社会貢献団体への寄付

さまざまな支援先



日本自然保護協会



公益財団法人
国土緑化推進機構



Good Neighbors
Guatemala

Paralym Art®



ブルーシー・アンフィターランダム社

PBV
ピースボート
災害支援センター



The Worldwide Lifeboat Association



日本企業
社会貢献
協会
JCV



認定NPO法人
レット座落群支援機構

クラダシ基金の活動原資

代表的な活動

地方創生



食のサステナビリティ研究会



フードバンク支援



SDGs教育



24年6月期 業績ハイライト

売上高（前期比）

28.6 億円
(-1.7%)

売上総利益（前期比）

13.3 億円
(+2.5%)

累計パートナー企業数^{注1}

1,829 社

営業利益（前期比）

21 百万円
(+185百万円)

当期純利益（前期比）

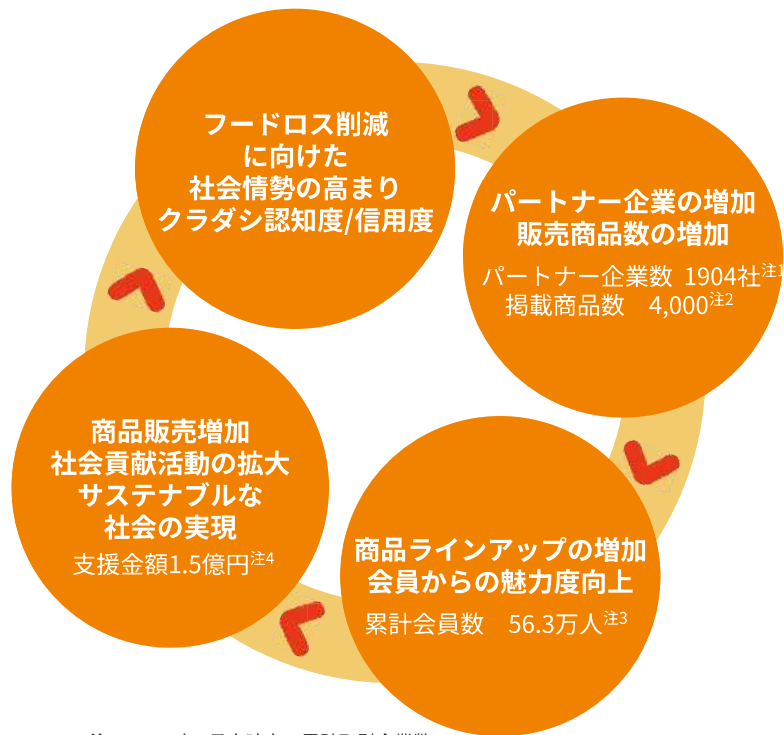
12 百万円
(+180百万円)

累計会員数^{注2}

55.0 万人

自律的なグロースモデル

フードロス削減の機運上昇・認知度の高まりからパートナー企業増加、会員増加、フードロス削減量増加、と相互作用することで自律的に成長していく仕組みを構築。



自律的な成長に耐えうる

プラットフォーム

としてのポジショニング

注1：2024年9月末時点の累計取引企業数

注2：2024年9月末時点の掲載商品数

注3：2024年9月末時点の累計会員数

注4：社会貢献団体への寄付及びクラダシ基金の活動原資の総額（2024年9月末時点）

インパクト・価値創造モデル



Value 前例を創ろう アクセル全開！明るく楽しく元気よく x 5つのマテリアリティ

マテリアリティの特定プロセス

Step1 課題項目の洗い出し

SASB、GRIスタンダード、ISO26000、SDGsといった国際的な指標を参照するとともに、ステークホルダーの声を踏まえ、クラダシの企業活動に関連性の高い課題を洗い出し、抽出しました。

Step2 重要課題の把握・整理

洗い出した課題をもとに、株主・投資家などの外部ステークホルダーとの議論や、従業員へのヒアリングを通じて、クラダシへの期待を整理し、課題の優先順位付けを行いました。

Step3 課題と取り組みの特定と承認

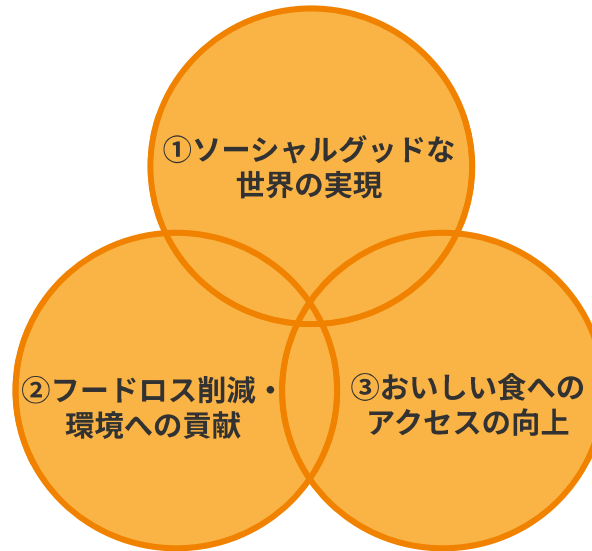
整理・優先順位付けした社会課題について、クラダシらしさ（ミッション・ビジョン）や経営戦略との相関性を評価し、取締役会の決議を経て、優先的に取り組むべきテーマを特定しました。

抽出された課題と整理



持続可能な社会の実現と経営を目指し、5つのマテリアリティを特定

事業・企業活動で
取り組むテーマ








ソーシャルグッドカンパニーの
原動力・競争力




ソーシャルグッドカンパニーを
支える基盤

④ 企業と人が共に成長できる場所

⑤ コーポレートガバナンスの強化

テーマ	取り組みの内容・説明	KPI／指標_関連テーマNo.	関連SDGs
① ソーシャルグッドな世界の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・ Kuradashiを通じた、誰もが気軽に楽しく社会貢献に参加できる仕組みの価値向上 ・ 経済性の成り立つソーシャルビジネス・モデルの確立 ・ 社会貢献活動団体への支援による社会インパクトの最大化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ フードロス削減量_①②③ ・ クラダシ基金の活動_①③ ・ ユーザー数_① ・ 出品企業数_①③ ・ 経済効果_① 	
② フードロス削減と環境への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・ フードロスの削減と温室効果排出の削減効果の最大化 ・ 事業を通じた環境負荷の低減、気候変動への対応（Scope3の算出） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援金額/支援先活動_① ・ CO2削減量_② ・ CO2排出量/エネルギー使用量_② 	
③ おいしい食へのアクセスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ Kuradashiを通じたフードロスの削減 ・ 日本の食に携わる一次産業の促進 ・ フードバンク/こども食堂への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラダシチャレンジ実績_③ ・ フードバンク支援実績_③ ・ 食のサステナビリティ研究会_③ 	
④ 企業と人が共に成長できる場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会の変化を捉え、多様な人材が活躍し続けられる環境づくり：DE&I・Well-beingの実現 ・ ソーシャルグッドな事業をドライブしていく人材が成長できる環境づくりと、それによってクラダシも成長し、社会と従業員に還元できるサイクルの構築：人材育成・登用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各役職における女性比率 ・ 平均勤続年数 ・ 育休取得率 	
⑤ コーポレートガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報セキュリティ ・ 食の安全とサプライヤー管理 ・ コンプライアンスの遵守 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リスク管理体制 	

マテリアリティに対する実績（インパクト指標）と取り組み

マテリアリティ	KPI／指標	2024年6月期 実績/施策
① ② ③	フードロス削減量 	23,993トン
	CO2削減量 	63,606 t-CO2
	経済効果 	116億円
	ユーザー数 (会員数)	55万人
	出品企業数	1,800社
	支援金額	1.4億円
	クラダシ基金の活動	P.27～ 参照

マテリアリティ	KPI／指標	2024年6月期 実績/施策
④	各役職における女性比率	全体 59% 管理職 14% 役員 25%
	平均勤続年数	2.0年
	育休取得率	100%
⑤	リスク管理体制	上場に応じたガバナンス強化 コーポレートガバナンスコードの対応 透明性の強化（四半期決算含めた 適時開示体制の構築、株主総会、 コンプライアンス研修、 Kuradashi支援先入れ替え）

サイトトップページ



マイページ

